

#### 4.1.9 人と自然との触れ合いの活動の場(主要な人と自然との触れ合いの活動の場)

##### 4.1.9.1 調査結果の概要

###### 1) 調査の手法

###### a) 調査すべき情報

###### i) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

人と自然との触れ合いの活動の場の特性を把握するため、自然探勝路、登山道、遊歩道、自然歩道、サイクリングコース、ハイキングコース、キャンプ場等の施設又は場の概況を調査した。

###### ii) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

人と自然との触れ合いの活動の場の利用性及び快適性を把握するため、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場の分布、その利用実態及びアクセスルート状況を調査した。

###### b) 調査の基本的な手法

###### i) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

調査の基本的な手法は、文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析とした。

###### ii) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

調査の基本的な手法は、文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析とした。

###### c) 調査地域・調査地点

i) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

調査地域は対象事業実施区域及びその周辺の区域から下流の嘉瀬川大堰までの区域とし、調査地点は人と自然との触れ合いの活動の場の概況を適切かつ効果的に把握できる地点とした。人と自然との触れ合いの活動の場の概況の調査地域・調査地点を図 4.1.9-1 に示す。

ii) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

調査地域は対象事業実施区域及びその周辺の区域から下流の嘉瀬川大堰までの区域とし、調査地点は主要な人と自然との触れ合いの活動の場である古湯温泉遊歩道、雄淵雌淵公園、下熊の川の河川公園、九州自然歩道及び北山ダムへのアクセスルートとした。主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地域・調査地点を図 4.1.9-1 に示す。

d) 調査期間等

i) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

文献その他の資料による調査に関する調査期間等は、特に限定しなかった。

現地調査の調査期間は平成 14 年度とし、調査時期は利用状況等を考慮し、春季及び夏季とした。

現地調査の実施状況を表 4.1.9-1 に示す。

ii) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

現地調査の調査期間は平成 12 年度～14 年度とし、調査時期は利用状況等を考慮し、春季、夏季、秋季又は冬季とした。

現地調査の実施状況を表 4.1.9-1 に示す。

表 4.1.9-1 現地調査の実施状況

調査すべき情報	調査地域	調査地点	現地調査方法	調査期間等
人と自然との触れ合いの活動の場の概況	対象事業実施区域及びその周辺の区域から下流の嘉瀬川大堰までの区域	適切かつ効果的に把握できる地点	現地踏査、カウント調査	調査期間:平成 14 年度 調査時期: 春季 平成 14 年 5 月 26 日(日) 夏季 平成 14 年 7 月 28 日(日) 調査時間帯:日の出から日の入まで
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況	対象事業実施区域及びその周辺の区域から下流の嘉瀬川大堰までの区域	古湯温泉遊歩道	カウント調査、アンケート調査	調査期間:平成 12 年度～14 年度 調査時期: 春季 平成 13 年 5 月 20 日(日) 平成 14 年 5 月 26 日(日) 平成 14 年 5 月 31 日(金) 夏季 平成 13 年 8 月 29 日(火) 平成 14 年 7 月 28 日(日) 秋季 平成 12 年 10 月 27 日(金) 平成 14 年 11 月 10 日(日) 冬季 平成 13 年 2 月 17 日(土) 調査時間帯:日の出から日の入まで
		雄淵雌淵公園	カウント調査、アンケート調査	調査期間:平成 12 年度～14 年度 調査時期: 春季 平成 13 年 5 月 20 日(日) 平成 14 年 5 月 26 日(日) 平成 14 年 5 月 31 日(金) 夏季 平成 13 年 8 月 29 日(火) 平成 14 年 7 月 28 日(日) 秋季 平成 12 年 10 月 27 日(金) 平成 14 年 11 月 10 日(日) 冬季 平成 13 年 2 月 17 日(土) 調査時間帯:日の出から日の入まで
		下熊の川の河川公園	カウント調査、アンケート調査	調査期間:平成 12 年度～14 年度 調査時期: 春季 平成 13 年 5 月 20 日(日) 平成 14 年 5 月 26 日(日) 平成 14 年 5 月 31 日(金) 夏季 平成 13 年 8 月 29 日(火) 平成 14 年 7 月 28 日(日) 秋季 平成 12 年 10 月 27 日(金) 平成 14 年 11 月 10 日(日) 冬季 平成 13 年 2 月 17 日(土) 調査時間帯:日の出から日の入まで
		九州自然歩道	カウント調査、アンケート調査	調査期間:平成 12 年度～14 年度 調査時期: 春季 平成 13 年 5 月 20 日(日) 平成 14 年 5 月 26 日(日) 平成 14 年 5 月 31 日(金) 夏季 平成 13 年 8 月 29 日(火) 平成 14 年 7 月 28 日(日) 秋季 平成 12 年 10 月 27 日(金) 平成 14 年 11 月 10 日(日) 冬季 平成 13 年 2 月 17 日(土) 調査時間帯:日の出から日の入まで
		北山ダムへのアクセスルート	カウント調査	調査期間:平成 14 年度 調査時期: 春季 平成 14 年 5 月 26 日(日) 平成 14 年 5 月 31 日(金) 調査時間帯:日の出から日の入まで

## 2) 調査結果

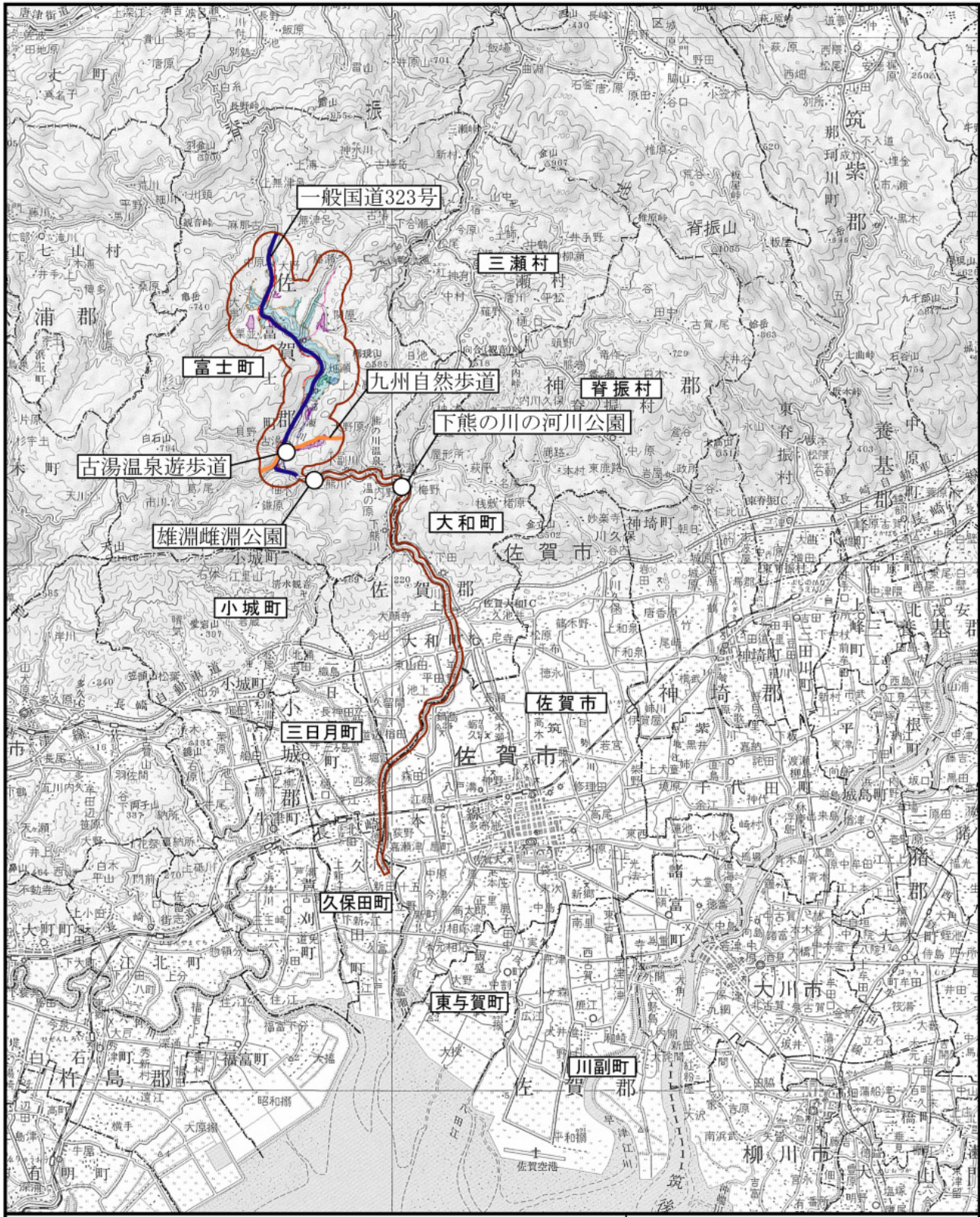
### a) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況を図 4.1.9-1 に示す。

調査地域において、ダム堤体予定地下流側には、嘉瀬川との水辺空間を活用した河川公園が分布している。その中でも、人と自然との触れ合いの活動の場としてのポテンシャルが高く、多くの人に、さまざまな目的で利用されていると考えられる古湯温泉遊歩道、雄淵雌淵公園、下熊の川の河川公園がある。また、調査地域内のダム堤体予定地下流側を横断する形で長距離自然歩道の一つである九州自然歩道が分布している。これらの人と自然との触れ合いの活動の場へは、嘉瀬川沿いに位置する一般国道 323 号からアクセスすることができる。

調査地域外ではあるが、ダム堤体予定地の上流側には、北山ダムが存在し、21 世紀県民の森等の施設があり不特定かつ多数の者にさまざまな目的で利用されている。北山ダムへは一般国道 323 号からアクセスできることから、調査地域内の一般国道 323 号は、北山ダムへのアクセスルートであると考えられる。そこで北山ダムへのアクセスルートも不特定かつ多数の者に利用されている場であると考えた。





凡例

- |  |          |  |              |  |        |
|--|----------|--|--------------|--|--------|
|  | : ダム堤体   |  | : 付替国道       |  | : トンネル |
|  | : 貯水予定区域 |  | : 付替国道(未完成)  |  | : 橋    |
|  | : 原石山    |  | : 付替県道       |  | : 市町村界 |
|  | : 土捨場    |  | : 付替県道(未完成)  |  |        |
|  | : 代替地    |  | : 付替町道       |  |        |
|  | : 施工設備   |  | : 付替町道(未完成)  |  |        |
|  | : 調査地域   |  | : 付替林道       |  |        |
|  |          |  | : 付替林道(未完成)  |  |        |
|  |          |  | : 工事用道路      |  |        |
|  |          |  | : 工事用道路(未完成) |  |        |



1:200,000

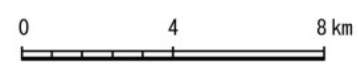


図4.1.9-1  
人と自然との触れ合いの活動の場の調査地域及び調査地点



b) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

「a) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況」の結果を踏まえ、古湯温泉遊歩道、雄淵雌淵公園、下熊の川の河川公園、九州自然歩道及び北山ダムへのアクセスルートの5地点を主要な人と自然との触れ合いの活動の場として選定した。

i) 古湯温泉遊歩道

ア) 古湯温泉遊歩道における利用の状況及び利用環境の状況

古湯温泉遊歩道の自然資源の状況を写真 4.1.9-1 に示す。古湯温泉遊歩道は、国民保養温泉地に指定されている富士町の古湯温泉街に位置している。貝野川沿いから嘉瀬川沿いに分布しており、貝野川や嘉瀬川の水辺にアクセスしやすい親水性の高い護岸沿いに歩道が整備されている。



写真 4.1.9-1 古湯温泉遊歩道の状況

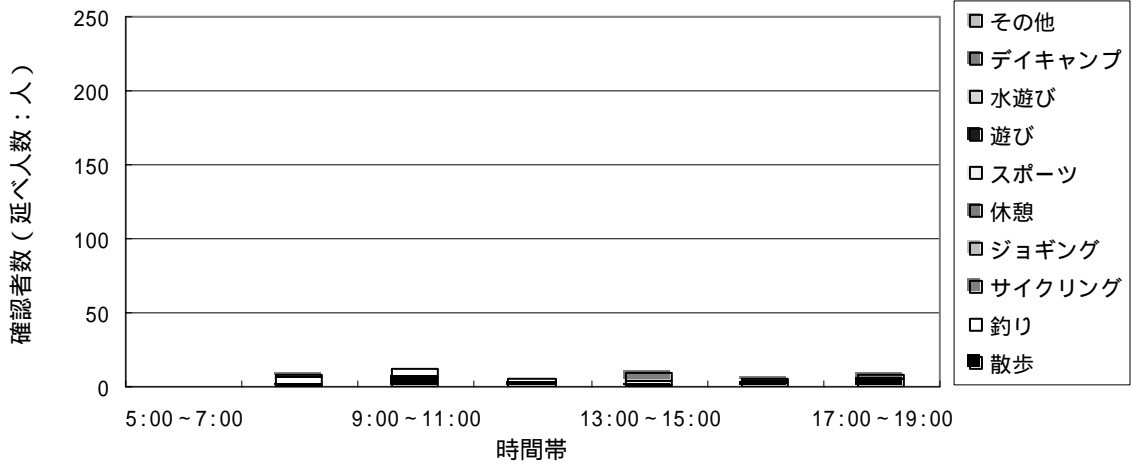
古湯温泉遊歩道の利用の状況及び利用環境の状況を把握するため、春季及び夏季において、カウント調査を実施した。カウント調査は、2 時間毎に古湯温泉遊歩道を周回し、目視により利用目的を確認した。

調査期間中の利用者数及び利用目的を図 4.1.9-2 に示す。

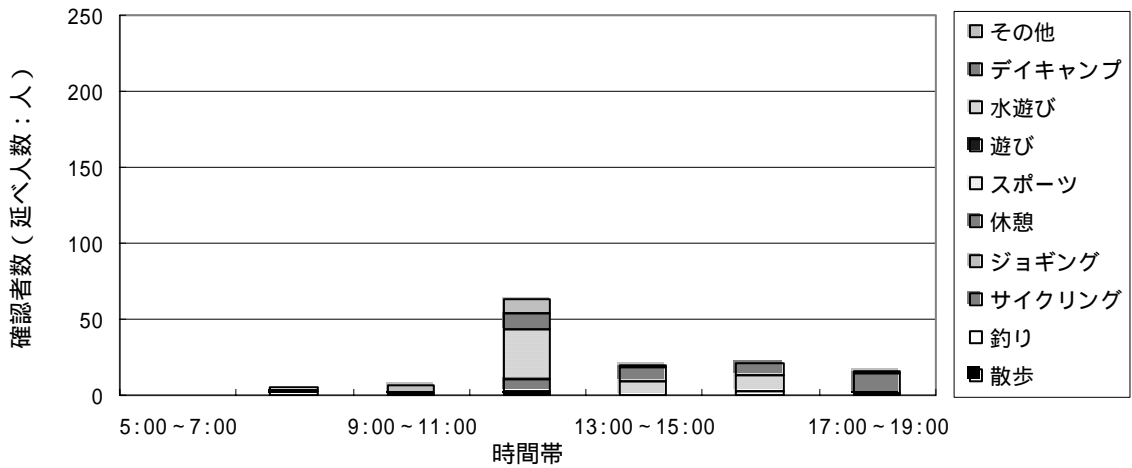
古湯温泉遊歩道における主な利用目的は、水遊び、散歩及び休憩であり、特に、夏季には貝野川における水遊びの利用が多く見受けられた。

また、古湯温泉遊歩道の周辺には、古湯温泉街があり、古湯温泉街の宿泊客や地元住民等に多く利用されている。特に、古湯温泉街の宿泊客にとっては、嘉瀬川の川の清らかさを実感できる場となっている。

< 春季 >



< 夏季 >



< 全期間合計 >

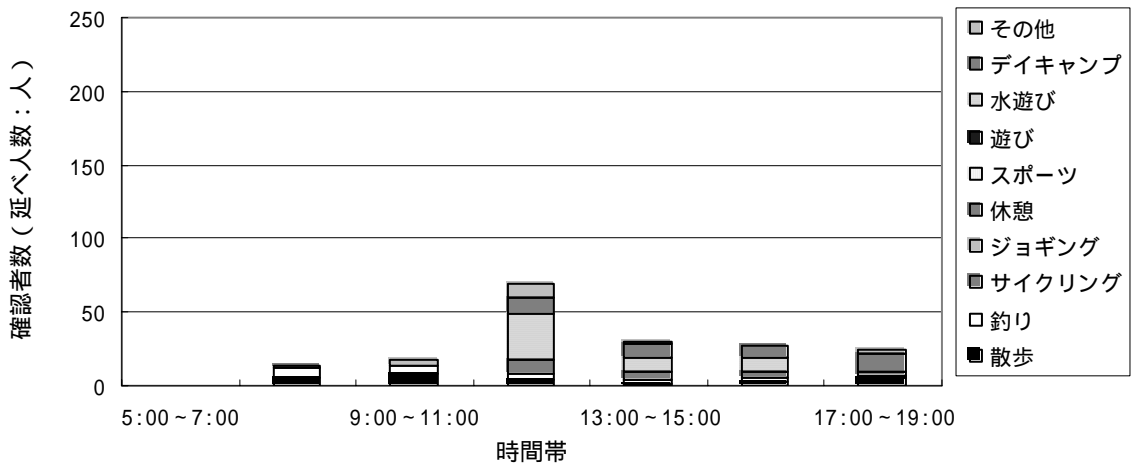


図 4.1.9-2 古湯温泉の利用目的別利用者数



## ii) 雄淵雌淵公園

### ア) 雄淵雌淵公園における利用の状況及び利用環境の状況

雄淵雌淵公園の自然資源の状況を写真 4.1.9-2 に示す。雄淵雌淵公園は、古湯温泉と熊の川温泉との間の雄淵トンネル付近の嘉瀬川の峡谷に位置している。雄淵雌淵公園は階段等が整備されており、水辺へのアクセスは容易である。



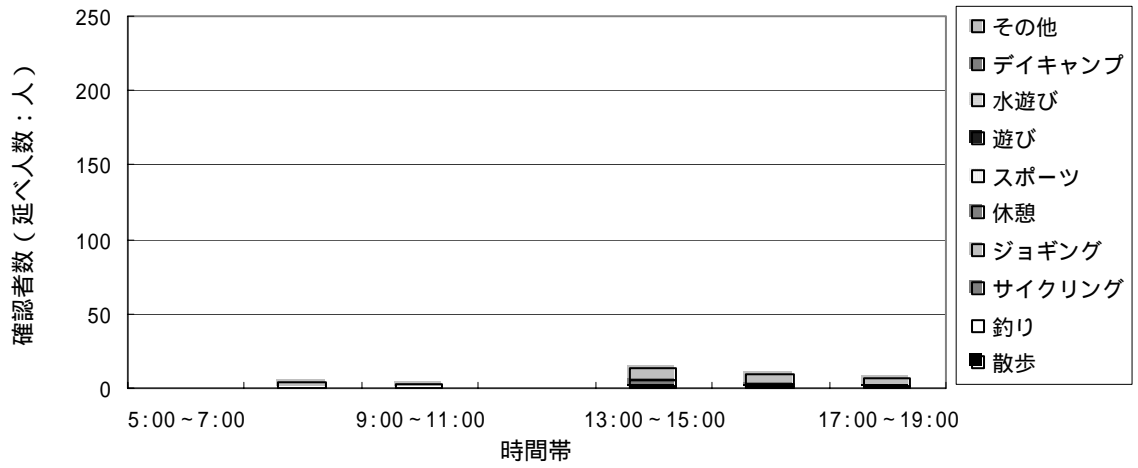
写真 4.1.9-2 雄淵雌淵公園の状況

雄淵雌淵公園の利用の状況及び利用環境の状況を把握するため、春季及び夏季において、カウント調査を実施した。カウント調査は、2 時間毎に雄淵雌淵公園を周回し、目視により利用目的を確認した。

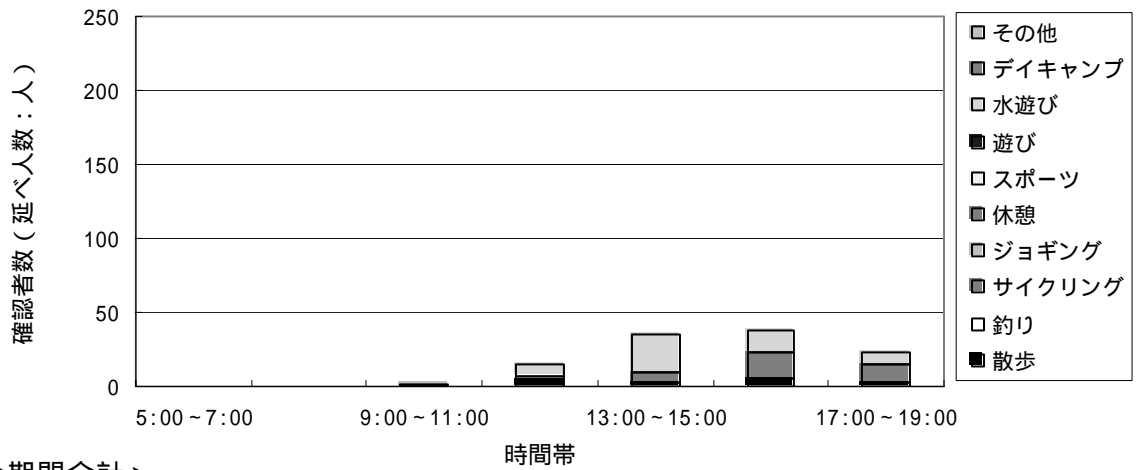
調査期間中の利用者数及び利用目的を図 4.1.9-3 に示す。

雄淵雌淵公園における主な利用目的は、水遊び、散歩及び休憩であり、特に、夏季の午後の時間帯には水遊びの利用が多く見受けられた。

< 春季 >



< 夏季 >



< 全期間合計 >

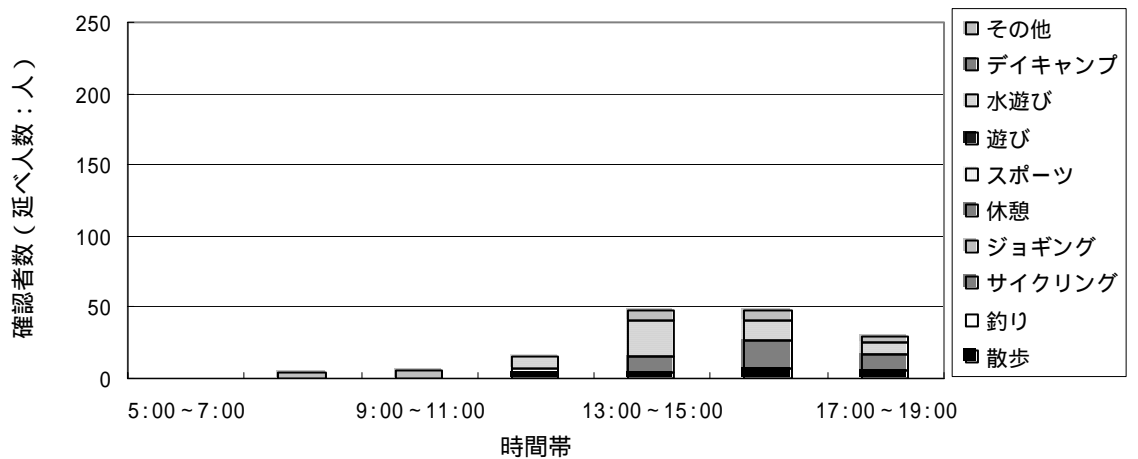


図 4.1.9-3 雄淵雌淵公園の利用目的別利用者数

iii) 下熊の川の河川公園

ア) 下熊の川の河川公園における利用の状況及び利用環境の状況

下熊の川の河川公園の自然資源の状況を写真 4.1.9-3 に示す。下熊の川の河川公園は、熊の川温泉街の嘉瀬川に整備された親水公園である。散歩道、水遊び場等が設置されている。



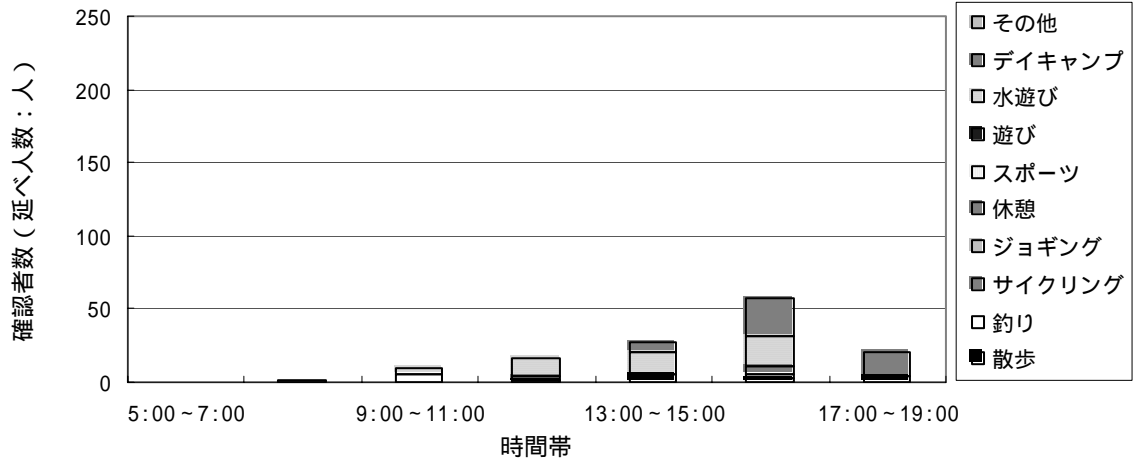
写真 4.1.9-3 下熊の川の河川公園の状況

下熊の川の河川公園の利用の状況及び利用環境の状況を把握するため、春季及び夏季において、カウント調査を実施した。カウント調査は、2 時間毎に下熊の川の河川公園を周回し、目視により利用目的を確認した。

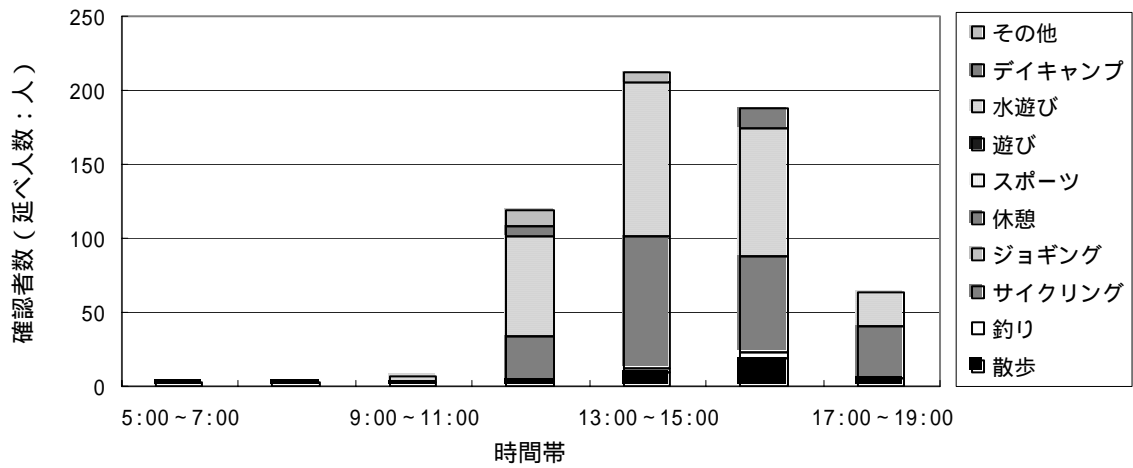
調査期間中の利用者数及び利用目的を図 4.1.9-4 に示す。

下熊の川の河川公園における主な利用目的は、水遊び、散歩、休憩及びデイキャンプであり、特に、午後の時間帯に多くの利用が見受けられた。

< 春 >



< 夏 >



< 全期間合計 >

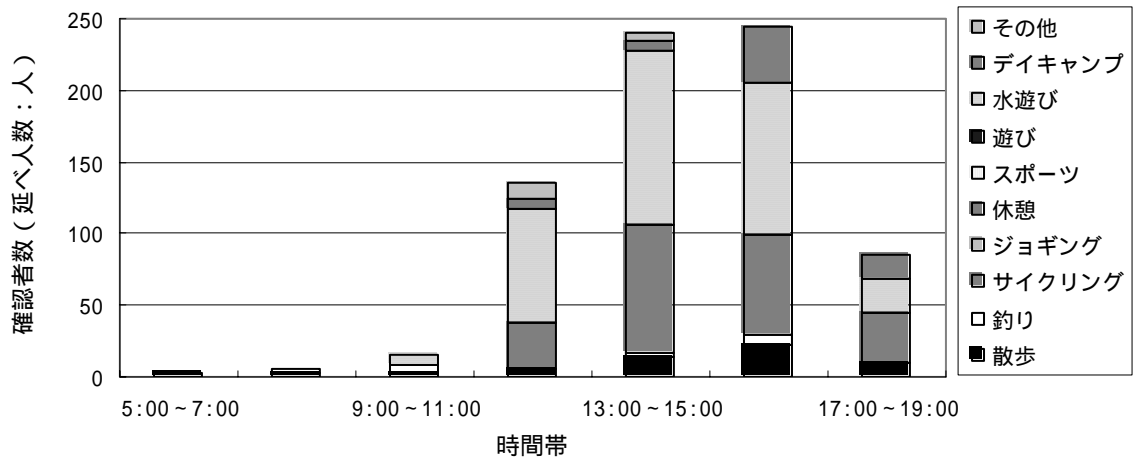


図 4.1.9-4 下熊の川の河川公園の利用目的別利用者数

#### iv) 九州自然歩道

##### ア) 九州自然歩道における利用の状況及び利用環境の状況

九州自然歩道の自然資源の状況を写真 4.1.9-4 に示す。九州自然歩道は長距離自然歩道の一つであり、九州を一周する総延長約 2,100km の自然歩道である。九州自然歩道には西コースと東コースがあり、佐賀県内のコースは西コースに属している。調査地域内の九州自然歩道は、北山国民休養地と天山の途中に位置している。



写真 4.1.9-4 九州自然歩道の状況

九州自然歩道の利用の状況及び利用環境の状況を把握するため、春季及び夏季においてアンケート調査を、春季、夏季及び秋季においてカウント調査を実施した。カウント調査は、利用者数を連続計測した。

九州自然歩道における主な利用目的として、自然を楽しむハイキングが想定されたが、調査期間中においては、ハイキングを目的とした利用者は確認されなかった。また、調査地域内の区間は、一部、川沿いに位置しているが、特に水辺を利用した活動を目的とした場はない。



## v) 北山ダムへのアクセスルート

### ア) 北山ダムへのアクセスルートにおける利用の状況及び利用環境の状況

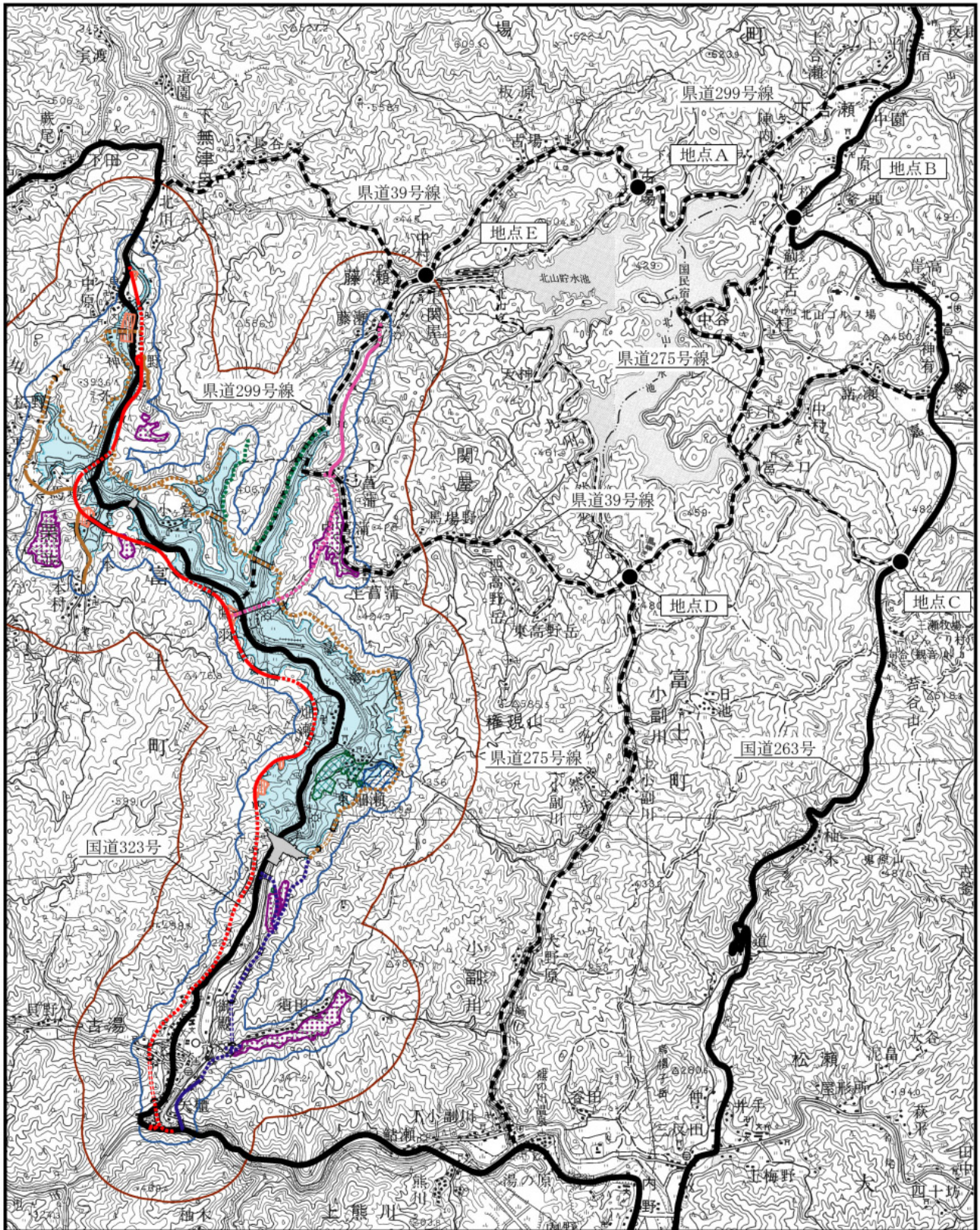
富士町の北東部は、北山ダムを中心として北山国民休養地に指定されている。また、佐賀県県政百周年事業として整備された 21 世紀県民の森も分布している。これら北山ダムへのアクセスルートとしては、一般国道 323 号及び一般国道 263 号がある。このうち一般国道 323 号は調査地域内に位置しており、一般国道 323 号から県道三瀬栗並線及び県道富士三瀬線を通り北山ダムにアクセスできる。

北山ダムへのアクセスルートの利用の状況を把握するため、春季においてカウント調査を実施した。カウント調査は、交通量を連続計測した。カウント調査の調査地点と一般国道 323 号及び北山ダムの位置関係を図 4.1.9-5 に示す。

調査期間中の交通量を図 4.1.9-6～10 に示す。

北山ダムへのアクセスルートとしては、大きく分けて、一般国道 323 号からのルートと一般国道 263 号からのルートの 2 つあり、一般国道 263 号からのルートの方が交通量が多い。





凡 例

- |  |            |  |              |  |          |
|--|------------|--|--------------|--|----------|
|  | : ダム堤体     |  | : 付替国道       |  | : トンネル   |
|  | : 副ダム      |  | : 付替国道(未完成)  |  | : 橋      |
|  | : 貯水予定区域   |  | : 付替県道       |  | : 国道     |
|  | : 原石山      |  | : 付替県道(未完成)  |  | : 県道     |
|  | : 土捨場      |  | : 付替町道       |  | : その他の道路 |
|  | : 代替地      |  | : 付替町道(未完成)  |  | : 調査地点   |
|  | : 施工設備     |  | : 付替林道       |  |          |
|  | : 対象事業実施区域 |  | : 付替林道(未完成)  |  |          |
|  | : 調査地域     |  | : 工事用道路      |  |          |
|  |            |  | : 工事用道路(未完成) |  |          |



1 : 50,000

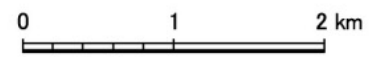


図4.1.9-4  
北山ダムへのアクセスルート  
の調査地点と一般国道323号及び  
北山ダムの位置



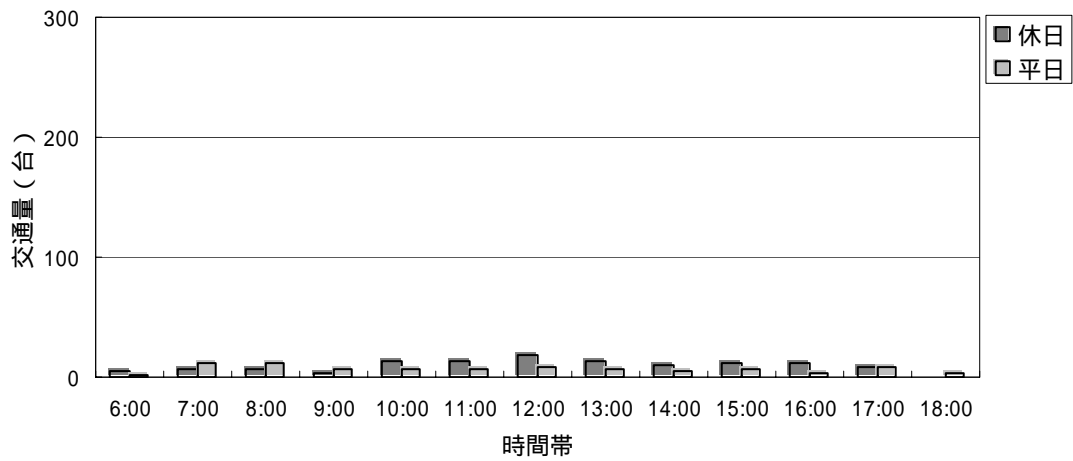


図 4.1.9-6 北山ダムへのアクセスルート交通量(地点 A)

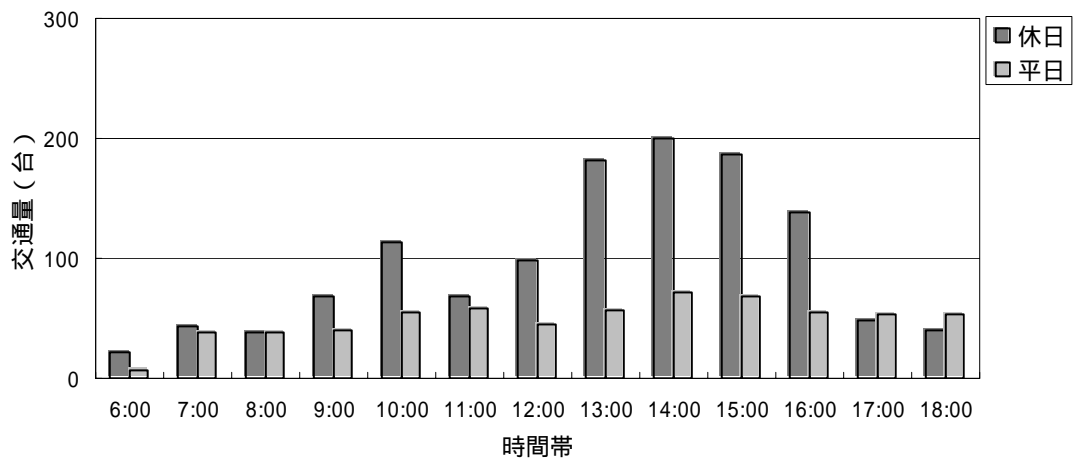


図 4.1.9-7 北山ダムへのアクセスルート交通量(地点 B)

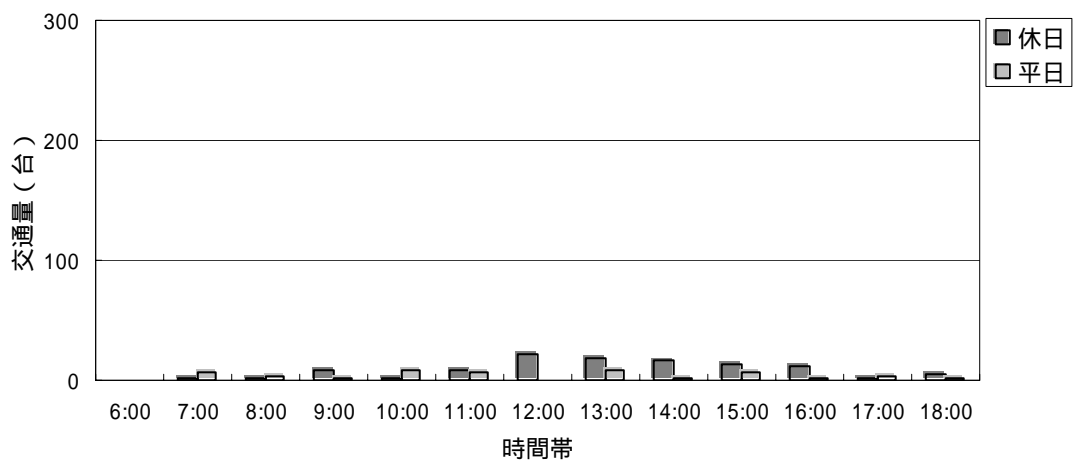


図 4.1.9-8 北山ダムへのアクセスルート交通量(地点 C)

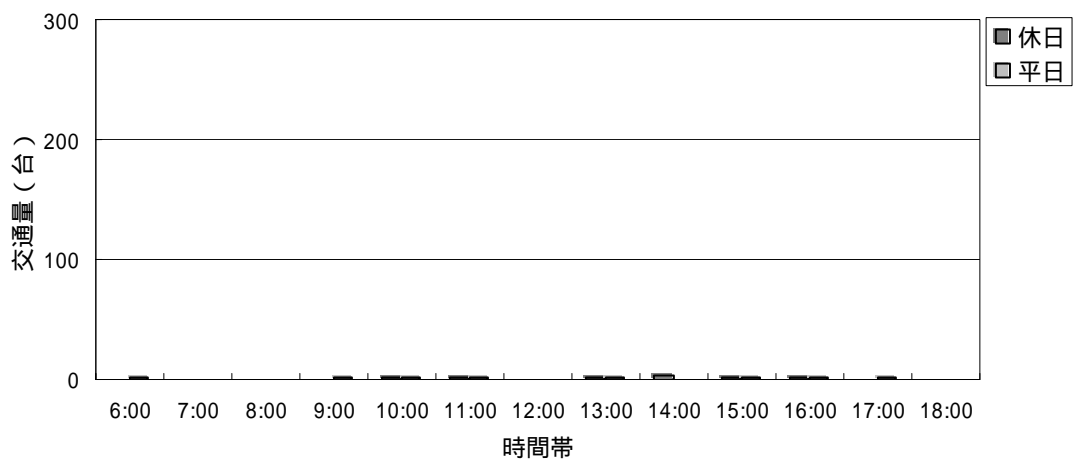


図 4.1.9-9 北山ダムへのアクセスルートの交通量(地点 D)

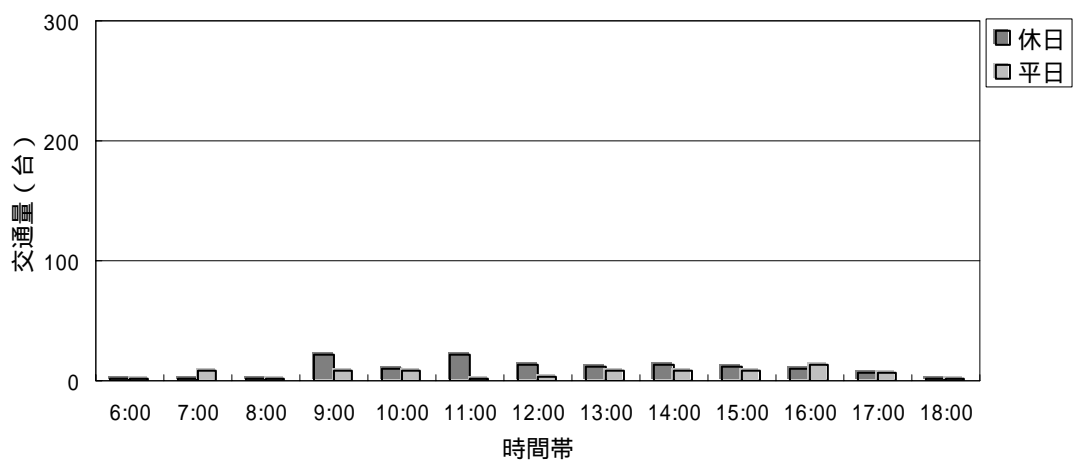


図 4.1.9-10 北山ダムへのアクセスルートの交通量(地点 E)